事例No.	2433
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	田幸ふるさとランチグループ

事例区分	地域活性化

タグ	・教育・子育て ・地域運営組織 ・関係人口

事例種類	地域振興

事例内容・タイトル

「ふるさとランチ」が結ぶ地域と子ども達

出典

平成27年度優良事例表彰一覧

全国過疎地域自立促進連盟 会長賞

広島県三次市

田幸ふるさとランチグループ

「ふるさとランチ」が結ぶ地域と子ども達



学校が生産者の方を招待する「感謝の集い」では、子どもたちが生産者の方々と交流し、直接、感謝の想いを伝えている。

事例の概要

三次市では、平成 15 年から学校給食に地元で生産した食材を使用する「ふるさとランチ」事業を開始したものの、様々な問題から継続が不可能となっていた。

しかしながら、この事業に関わっていた田幸地区の生産者の方々の「せっかく始めた地産地消の取組をやめてしまうのはもったいない」、「地域の子どもたちに自分の作った野菜を食べてもらいたい」という強い思いを、住民自治組織である田幸地区町内会連合会が受け止め、新たな食材供給体制の構築に着手し、平成 17 年に「田幸ふるさとランチグループ」を結成した。

地域の食と農を結び付け、学校給食に地元の食材を活用し、地域内循環のしくみを作り、子どもたちの食農教育と郷土愛の醸成を図っている。



田幸ふるさとランチグループのみなさん

評価のポイント

広島県の北部に位置する三次市の田幸地区は、三次市全体の 2.7%に当たる 1,490 人、580 世帯（平成 27 年５月１日現在）が暮らす自然豊かな中山間地域である。

三次市では、平成 15 年から学校給食に地元の農作物を取り入れる「ふるさとランチ」事業などの食育推進計画に取り組んでいたが、食材の安定供給や経費の確保など様々な問題により「ふるさとランチ」事業の継続が不可能となった。

このような中、この事業に関わっていた田幸地区の生産者の方々の「せっかく始めた地産地消の取組をやめてしまうのはもったいない」、「地域の子どもたちに自分の作った野菜を食べてもらいたい」という強い思いを、住民自治組織である田幸地区町内会連合会が受け止め、「田幸ふるさとランチグループ」を結成し、住民自治組織が中心となった行政に頼らない食材供給体制の構築に着手した。

学校給食に使用する野菜を安定的に供給するため、生産者が互いに野菜の栽培方法を教え合ったり、講師を招いての研修などに取り組んだ。このような条件整備の成果が、現在の地域食材の使用比率約 57%という驚異的な数字に表れている。また、生産者自身が学校に直接野菜の搬入を行ったり、子どもたちが学校に生産者を招いて「感謝の集い」を行うなど、顔の見える交流が、高齢の農業従事者の生産意欲や生きがいを生み、子どもたちの地域への愛着心の醸成につながっている。

本事例は、一度は廃止の危機に瀕した市の「ふるさとランチ」事業を田幸地区の生産者と住民自治組織の方々の協働により、新たな供給体制が構築され、地域への強い思いと高い自主性により、10 年という長きにわたって事業を継続してきた点が評価された。

今後は、農業従事者の高齢化、後継者不足といった課題を乗り越え、生産者、住民自治組織及び学校のそれぞれが主体的に行っている現在の取組が、コミュニティビジネスという要素を持って更なる広がりと発展性を持ち、地域内に一層の好循環が生まれることを期待したい。



雨の日も雪の日も、子どもたちの笑顔と元気のために、毎朝、新鮮な野菜を生産者自身で調理場に届けている。



地域の野菜をふんだんに使った給食は、愛情満点・栄養満点。子どもたちはほとんど残さず食べている。



「感謝の集い」など、子どもたちとの顔が見える交流が生産者の生きがいにつながっている。

DATA

広島県三次市（みよしし）

団体名●田幸ふるさとランチグループ
所在地●〒729-6211　広島県三次市大田幸町342-5　田幸コミュニティセンター内
連絡先●TEL：0824-66-1162　FAX：0824-66-1162
E-mail:takoh@m-city.jp

【交通のご案内】
自動車●山陽自動車道　広島ＩＣから中国縦貫自動車道経由で大阪方面へ約1時間（三次ＩＣ下車）
中国横断自動車道尾道松江線　尾道北ＩＣより松江方面へ約50分（三次東ＩＣ下車）
国道54号　広島市より約1時間45分
鉄　道●JR広島駅からJR三次駅まで約1時間50分（快速で約1時間15分）
飛行機●羽田空港から広島空港まで約1時間30分
広島空港から国道375号経由で約1時間30分



▶国勢調査人口（単位：人）

昭和35年	昭和55年	平成12年	平成17年	平成22年
83,030	63,582	61,635	59,314	56,605

▶人口増減率（単位：%）

H22/S35	H22/S55	H22/H12	H22/H17
-31.8	-11.0	-8.2	-4.6

▶高齢者・若年者比率（H22 年）（単位：%）

高齢者比率（65歳以上）	若年者比率（15歳以上30歳未満）
31.4	11.3